



## 新刊案内

人権教育実践ブックレット 7

# 「スポーツ・部活動と人権教育」



日本ではほぼすべての中学校・高等学校で教育活動の一環として部活動が行われ、すべての子どもたちに無償でスポーツや文化活動の機会が提供されており、海外には見られない独特の取組である。そもそも部活動は教育課程として定められてはいない課外の自主的な活動であるにもかかわらず、中学生の9割（2016年度調査）、高校生の7割（2014年度調査）が部活動に参加している。また中学校教諭の92.4%、高校教諭の96.2%（2006年度調査）が部活動顧問となって日々模索しながら指導にあたっている。つまり子どもたちや教員にとって、ま



た保護者にとっても、部活動は日常的に大きな位置を占める存在である。

そうした中で近年、体罰・暴力やパワハラ問題、部活動が教員の加重労働を招いているという実態の指摘も行われ、部活動の見直しも論議されているところである。私たちは部活動が抱えるこれらの問題や課題について、学校現場の大きな課題の一つとしてとらえて改善するため

の努力をしなければならないと考えている。

一方で、学校に居場所を見つけられない子どもたちが部活動の中でなかまとなつたり、くらしに課題を抱えた子どもたちが部活動を通して困難に立ち向かうように成長していく姿もたくさん存在する。部活動が学校現場で大きな位置を占めているにもかかわらず、これまで部活動と人権教育は必ずしもうまくつながってこなかったのではないかな？さらにスポーツや部



活動を通して人権課題が見えてくることがあるのではないかな？このブックレットはこうした問題意識から編集したものである。こうした問題意識はまだ整理されたものではないが、このブックレットではスポーツ系部活動の指導にあたっている現場の教員が、そこで出会った子どもたちのくらしの実態や差別の現実に向き合うことを通して子どもたちとともに差別や人権について学び、つながっていこうとする取組を紹介する。またスポーツと



人権について、子どもたちと一緒に学ぶ際に活用できるように、一切の差別を許さず人権の確立をめざすスポーツの理念や取組についての学習資料も掲載している。多くの方々に読んでいただき、スポーツ・部活動と人権教育がつながっていくための一助となることを願っている。

### (主な内容)

- ・「部活動と人権教育～あいつにシュートを打たせろ！～」
  - ・「もし野球部がなかったら、今の自分はなかった」
  - ・「スポーツは社会を変える」「スクラム・タックル 体が触れあうたびに彼らは友情を深めた」
  - ・「国籍・ルーツを考える」(教材)
- ほか学習資料

福岡県・桂川町立桂川中学校サッカー一部顧問  
三重県・前・志摩市立磯部中学校野球部顧問  
大阪朝鮮高級学校ラグビー部 前顧問  
大阪市・前・大阪市立御幸森小学校教諭

池末 義孝  
谷川原憲吉  
呉 英 吉  
ハシ 文 亨

6月中旬刊行予定

A5版80ページ 頒価900円

30冊以上お申し込みいただいた場合、3割引(1冊630円)にいたします。30冊以下の場合は、従来通り2割引(1冊720円)です。加盟人同教の格段のご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

## 購入申込み書

人権教育実践ブックレット7「スポーツ・部活動と人権教育」を( )冊申込みます。

加盟人同教名

送付先(〒 - )